

海津市創生総合戦略【概要版】

基本的視点

- ①定住・移住の促進や雇用の確保・創出などによって人口の減少に歯止めをかけ、まちが元気になる魅力的な地域づくりの施策を提示
- ②安心して多くの子どもを産める環境づくり、子育てしやすい環境づくりを推進
- ③交流人口を増やす取組を進め、様々な地域の人が集い、活気にあふれる地域づくりのための施策を提示
- ④西濃圏域を始めとする地域の連携によって、広域的な観光の推進や産業振興、雇用促進、移住・定住の促進を拡大・深化

計画期間

5年間

推進体制

- ①基本目標に数値目標を掲げ、主要な施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定することで政策の効果を検証し、改善を行う仕組み（PDCAサイクル）を構築
- ②市民、産業、行政、教育、金融などで構成する「創生総合戦略推進懇談会」での意見聴取のほか、戦略内容の達成度を検証

基本目標と基本的方向

1 まちの魅力の向上、産業振興による定住人口の増加
地域における産業振興を図り、市民の働き場所を確保するとともに、まちの魅力向上や生活環境の改善により若年層の定住・移住に向けた取組を推進し、将来にわたって定住人口の増加を図る。

■成果指標： 年間の転入者数

2 海津ブランドの構築と観光振興による交流人口の増加

海津市の地域資源を活かした物産の開発やブランド化の促進、観光振興や広域的なイベントの開催などを通じて、交流人口の増加を図る。市内外へのアピール力を高め、多くの人を呼び込むまちとしていく。

■成果指標： 西濃圏域における転入者数

3 子育て世代が安心して暮らせる地域づくり

子どもに関わる保健・医療体制の充実や、子育て世帯を支援する様々な取組を進めることにより、子育て世代が安心して暮らすことができる地域づくりを進める。また、学校だけでなく、家庭、地域も含めた教育環境の充実を図り、市民の地元への愛着心を醸成する。

■成果指標： 合計特殊出生率

4 地域で連携して防災や高齢者対策等に取り組み、生涯を通じて安心な暮らしを守る地域づくり

地域コミュニティによる地域防災力の向上や見守りの強化、高齢者対策等によって、すべての住民が安心して暮らせる地域づくりを進める。また、広域連携の観点から、産業振興、雇用創出、観光の拡大、子育て環境の整備等といったテーマを連動させ、関連施策の有機的な展開を図る。

■成果指標： 海津市に住みたいと思う割合

具体的な施策

1 まちの魅力の向上、産業振興による定住人口の増加（数値目標：年間転入者数 基準値818人 目標値1,000人）

(1) 移住・定住の促進

① 移住・定住の促進

(2) 農林漁業振興の促進

① 生産基盤の強化

② 担い手の育成・確保

③ 森林の整備

(3) 産業振興の推進

① 地域経済の活性化

② 企業支援機能の強化

③ 企業誘致の促進

(4) 教育機関との連携

① 児童・生徒への支援・連携

(5) 文化・芸術の振興

① 文化・芸術の振興

2 海津ブランドの構築と観光振興による交流人口の増加（数値目標：西濃圏域における転入者数 基準値12,000人 目標値12,600人）

(1) 観光の振興

① 観光資源の活用

② 地域資源の活用

(2) 販路開拓・拡大支援

① 販路開拓・拡大支援

(3) スポーツによる地域活性化

① スポーツによる地域活性化

(4) 地域間交流の推進

① 西濃圏域市町の連携推進

② 国・県・県外自治体等との連携推進

3 子育て世代が安心して暮らせる地域づくり（数値目標：合計特殊出生率 基準値1.20人 目標値1.56人）

(1) 出会い・結婚・出産・子育て支援体制の充実

① 非婚・晩婚化の対策

② 妊娠を望む夫婦及び妊婦の経済的負担の軽減

③ 子育て支援の充実

(2) ワークライフバランスの推進

① 仕事と家庭の両立支援

4 地域で連携して防災や高齢者対策等に取り組み、生涯を通じて安心な暮らしを守る地域づくり（数値目標：海津市に住みたいと思う割合 基準値82.3% 目標値90.0%人）

(1) 暮らしの安全・安心の確保

① 地域コミュニティの活性化

② 快適な生活環境の整備・確保

③ 交通ネットワークの整備

④ 公共施設等の計画的な維持管理

⑤ 地域防災力の強化

(2) 福祉・医療の充実

① 高齢者、障がい者等への支援

② 地域福祉の推進

③ 医療体制の確保